

## 神奈川県藤沢市が育鵬社版の歴史教科書及び公民教科書を採択したことに抗議し、採択の撤回を要求する

本年7月28日、神奈川県藤沢市の教育委員会は、2012年4月から公立中学校で使用する教科書として、いわゆるつくる会系の、育鵬社版歴史教科書及び公民教科書を採択した。

育鵬社版の歴史教科書及び公民教科書は、天皇中心の考え方にに基づき人びとの暮らしに目を向けず、アジア諸国を蔑視し、天皇を中心とする日本の伝統を情緒的に強調し、日本国憲法を押し付けられた憲法であって「改正」すべきものと教え、自衛隊を海外に派遣する必要性を強調する教科書であり、一言でいえば、「戦争をする国」を担う国民を育成しようとする教科書である。

現在、日本全国で、育鵬社版の歴史教科書及び公民教科書の採択をしてはならないという市民の声が高まり、各地の教育委員会で、いわゆる「つくる会」系である育鵬社版自由社版の教科書が不採択となっている。今回の藤沢市の教育委員会の教科書採択は、このような市民の反対を無視したものである。

このような採択が、子どもと日本の現在と将来に重大な問題を引き起こし、国内はもちろん、アジア近隣諸国からも厳しい批判を受けることは確実である。

われわれ自由法曹団は、藤沢市の教育委員会が育鵬社版の歴史及び公民教科書を採択したことに對し、抗議するとともに、ただちにこの採択を撤回し、改めて十分な調査研究に基づく採択をやり直すことを要求するものである。

2011年7月29日

自由法曹団  
団長 菊池 紘